



サフラン便り

第54号 23年12月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941
<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

胎児環境と未来世代の健康を守るために

～環境改善型予防医学の必要性～ 生涯学習報告

日時：11月26日(土) 19:30～21:00

場所：佐賀県薬剤師会会館 2階研修ホール

講師：森 千里先生 千葉大学 大学院 医学研究院 環境生命医学 予防医学研究センター

内容：はじめに、予防医学とは

21世紀の医療は予防医学である。先ず、健康の成立原因を知り、それに関心に向け、行動に移す。個人でできる予防の3段階として第1次予防が健康増進、第2次予防が早期発見、早期治療、第3次予防が再発防止、リハビリテーションと言われている。

化学物質問題と環境改善型予防医学

化学物質の人への影響

胎児の複合汚染

胎児や子供は小さな大人ではない。

化学物質の胎児曝露被害と胎児プログラム、そしてエピジェネティック毒性

化学物質の健康診断と環境改善型予防医学の実践

おわりに 環境省エコチル調査

・公衆衛生とは、共同社会の努力を通して、疾病を予防し、寿命を延長し肉体的精神的健康の増進をはかる科学であり技術である。国の社会的使命として日本国憲法25条にも掲げられている。

・森 千里先生の著書紹介

「へその緒が語る体内汚染」～未来世代を守るために～

「胎児の複合汚染」～子宮内環境をどう守るか～

森 千里先生は明治の文豪森鷗外の曾孫さんで、来年は鷗外生誕150年です。いろいろなイベントが企画されるそうです。TVや新聞でお見かけするかもしれません。



<九州山口薬学大会 女性薬協議会報告>

日時：11月12日(日) 午前8:15～9:30

場所：沖縄コンベンションセンター

発表内容：九州各県の家伝薬事情

山口：薬粥の作り方の紹介(紅花粥・ヨモギ粥・にんにく粥、ヤマイモ粥・菊の花粥)

山口県オリジナル「はなっこりー」の紹介

佐賀：「薬草を食する会」に女性薬がアドバイザーとして参画していることを紹介。

「野中烏犀園」「腰専門」の紹介

長崎：「昔から伝わる長崎の名薬」12社20医薬品の紹介

熊本：熊本県の伝統薬7社(再春館製薬等)身近な薬草の冊子作成に女性薬剤師部会が参画

キャナルズ「薬草は正しく使いましょう。郷土の自然を大切にしましょう」

宮崎：都城市補助事業として「薬用植物をたずねて」毎年都城薬剤師会が開催している。

鹿児島：かぜ薬「改源」を始め数多くの家伝薬、秘伝薬の紹介があった。

沖縄：薬草の宝庫、ハーブアイランドと言われている沖縄の「くらしの中の薬草学」身近な薬草を知ろう
と言う演題で紹介。

< ボーデンス、モルテッド、ミルク >

ボーデンス・モルテッド・ミルクは乳界最古最大の会社として且つ又モルテッド・ミルク製造の元祖として世界的信用を博している、米国ボーデンス会社の最高級品であります。本邦に於て信用を博せる「鷲印練乳も同会社（創立七十年）の製品であります」殊にボーデンス、モルテッド、ミルクは西暦1915年即ち今より十有四年前パナマ万国博覧会で一等賞を授与せられ世界的名声を博せし母乳代用品として第一位のしなであります。

ボーデンス会社は人口栄養による乳児の死亡率の高度と無数の胃腸障害を視て、この不幸な現象を救済すべく理想的な人口栄養料を世に提供せんと企図し学理に基づき実地の試練と多大な苦心研究を重ねた結果、純良な牛乳と大麦とを原料とし、理想的衛生設備と最も進歩した方法を応用して乳児並びに胃腸病者、老衰者その他一般病者の為に完成したるは我がボーデンス・モルテッド・ミルクであります。

（米国ボーデンス・ミルク会社 ボーデンス・モルテッド・ミルク日本部 總代理店 岡本商會版）

< 第3回女性薬交流会開催案内 >

日 時：平成24年1月15日（日）11時～14時
場 所：花やしき（鳥栖市柚比町296-1 電話0942-83-2000）
食事代：3,000円（当日集めます。）
内 容：11:00～12:00 研修会
テーマ “魅力学・心の美学”～医療接遇コミュニケーションを考える～
講師 シンカ 代表 柴田 早予子 先生
12:00～14:00 食事をしながら交流会



ご希望の方は交流会終了後、中庭記念くすり博物館^{無料}で見学できます。（館長が薬草園もご案内して下さいます。）

< 診療ガイドライン薬剤コース スクーリング研修会案内 >

日時：平成24年2月5日（日） 9:00～14:40

場所：佐賀県薬剤師会 2階研修ホール

内容： 肝炎、肝硬変：肝臓は本当に沈黙の臓器か？ 佐賀大学医学部 総合診療部 江口有一郎先生
アトピー性皮膚炎：かゆいがストレス 佐賀大学医学部 内科学皮膚科 増岡美穂先生
副鼻腔炎：安易な抗菌薬の投与は禁物 山口耳鼻咽喉科 副院長 山口勝矢先生
認知症：アルツハイマー病との関連 医）清友会 清友病院 院長 橋本和人先生
ガイドラインを受講されていない方も、男性薬剤師の方もふるってご参加ください。（コーヒー付き）

< ちょっと一言 >

最近「断捨離」という活字を良く目にします。本屋で、関連本を立ち読みして、その発想転換に季節柄とても参考になります。情報は収集と遮断をうまくこなさないと的外れに走ってしまうと聞きますが、ザワザワと落ち着かない時は特に実感しますね。片付かないのは心の映し出しだと良く言われますが、私は反省しきりです。日本中で片づけるという課題を投げかけられているように感じますが、問題を解く鍵はどこにあるのでしょうか？毎朝探し回る鍵のように、ひっくり返して見ると身近にあるのかも！
(島田)

マイバッグ、ノーレジ袋推進ステッカーはご活用していただいていますでしょうか？患者様からの反応ご意見がありましたら情報提供等よろしくお願いたします。

これからも女性薬部会は、エコ活動にも取り組んでいきたいと思っています。

節電の冬、皆さまお風邪を召ませぬように。予防医学の実践をやっていきましょう。